《解説》

## 能 源氏供養（げんじくよう）

安居院法印（ワキ）が石山寺へ参詣に向かう途中、一人の若い里女（前シテ）に呼び止められた。女は法印に、昔石山寺に籠り源氏物語を書いたが、光源氏の供養を怠った罪により、成仏できないでいると話す。そして源氏の供養をし、私を弔って欲しいと法印に頼む。驚いた法印が紫式部なのかと訊ねると、女は深く頷き消え失せる。（中入）

法印が石山寺で供養をしていると、紫式部の亡霊（後シテ）が現れる。式部の亡霊は法印の供養を喜び源氏物語の由来を語り、物語の巻名を織込み綴った表白の文を口ずさみながら舞を舞う。やがて法印は、紫式部とは石山観世音の化現であり、源氏物語とは夢の世を人に知らせる方便であったのだと悟る。

## 狂言 腰祈（こしいのり）

長年の山伏修行を終えた山伏・卿の殿（きょうのとの）は、故郷に帰る途中、都の祖父を久々に見舞うことにする。山伏が太郎冠者に取り次いでもらい座敷で祖父を待っていると、老いさらばえて腰が曲がっている祖父がやって来る。気の毒に思った山伏は、祈りの力によって祖父を治そうとするが…。

## 能 西行櫻（さいぎょうざくら）

洛中の花の名所を訪ね歩いている下京の人々（ワキツレ）はある日、西山にある西行庵の桜を訪ねた。西行法師（ワキ）は庵の前にある老木の桜を特に愛し、静かに眺めて暮らしていた。西行は集まってきた人々を追い返すことも出来ず、柴垣の戸を開いて中に入れる。けれども西行は残念なあまり、「花見んと群れつつひとの来るのみぞ、あたら桜の科にはありける」と口ずさむ。そして、その夜は花見の人々と共に桜の木陰で眠りにつく。するとその夜更け、老木の桜の精（シテ）が現れる。桜の精は西行が先程口ずさんだ歌を引き、桜に浮世の科は無いはずだと戒める。その後、桜の精は数々の花の名所を讃え、老いた足取りで舞を舞って春の夜を楽しむ。やがて夜明けとなり、西行の夢は覚め、桜の精は姿を隠す。

〔注意事項〕

- 入場券のお申込みは、観世九皐会事務所ならびに当会能楽師が承ります。
- 当日券は、残席ある場合のみ当日正午より会場受付にて発売いたします。完売の際はご了承ください。
- お求め頂いたチケットの払戻しおよび指定席のお取替えはできません。
- 未就学児の入場は原則的にお断りさせていただきます。
- 本番組記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- 許可のない録音、撮影は一切禁止です。携帯電話は電源からお切りください。演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく事もございますので御了承ください。
- 地震等の影響により急遽変更になることがございます。情報は随時ホームページをご覧ください。

**入場券料（全席指定・税込）**

正面指定席……6,480円
脇正面・中正面指定席……5,400円
学生券指定席（脇正面中正面）……3,240円
（席数限定・26歳未満・要学生証。未就学児童入場不可）

**一般発売日2月10日（日）**

一回券は、前月の定例会当日に矢来能楽堂受付にて発売いたします。
（お電話でのご予約は12日（火）から承ります）

- 半期券と当会会員先行予約のため、一般発売席がわずかとなる場合がございます。何卒ご了承ください。

**お問い合わせ・お申し込み**

観世九皐会　162-0805 東京都新宿区矢来町60番地
TEL 03-3268-7311　FAX 03-5261-2980　yarai@eos.ocn.ne.jp

主催：公益社団法人 観世九皐会

地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

能・狂言
Noh Kyogen
**観世九皐会**
かんぜきゅうこうかい
**矢来能楽堂**
162-0805 東京都新宿区矢来町60

http://www.yarai-nohgakudo.com

表紙写真「石王尉」撮影 青木信二

能・狂言 かんぜきゅうこうかい
# 観世九皐会
# 二月定例会

平成31年3月10日（日）午後1時始（正午開場）
於 矢来能楽堂
*Noh Kyogen*
KANZE KYUKOHKAI
10 March.2019(sun) Yarai Noh Stage
13:00 start (12:00 open) English program available

beyond 2020

文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

平成三十一年三月十日(日)午後一時始　於 矢来能楽堂

## 番組

能 **源氏供養** Genjikuyoh

シテ 観世 喜正

舞入 ワキ 森 常好
ワキツレ 舘田 善博
ワキツレ 梅村 昌功

後見 遠藤 和久
長山禮三郎

大鼓 柿原 弘和
小鼓 鳥山 直也
笛 小野寺竜一

地謡 奥川 恒成　長山 耕三
河井 美紀　遠藤 喜久
中森健之介　中所 宜夫
桑田 貴志　小島 英明

―休憩十五分―

(午後二時三十五分頃)

狂言 **腰祈** Koshiinori

シテ 大藏 基誠

アド 吉田 信海
アド 大藏彌右衛門

後見 小梶 直人

仕舞 **嵐山** 佐久間二郎
**藤** クセ 弘田 裕一
**鵜飼** キリ 奥川 恒治

地謡 中森健之介
永島 充
永島 忠侈
長山 耕三

―休憩十分―

(午後三時二十五分頃)

能 **西行櫻** Saigyohzakura 彩色

シテ 観世 喜之

ワキ 殿田 謙吉
ワキツレ 舘田 善博
ワキツレ 梅村 昌功
ワキツレ 森 常好
間 大藏 教義

後見 遠藤 喜久
観世 喜正

大鼓 安福 光雄
小鼓 幸 清次郎
太鼓 三島元太郎
笛 一噌 庸二

地謡 坂 真太郎　中森 貫太
佐久間二郎　弘田 裕一
永島 充　小玉 三郎
奥川 恒治　駒瀬 直也

附祝言

(終演 午後四時四十五分頃)

---

次回予定番組

平成三十一年四月十四日(日)
午後一時始
於 矢来能楽堂

能 **忠度** 中所 宜夫

能 **杜若** 小島 英明


**能楽書林**

権藤芳一著
『能楽手帖』

簡潔な解説で携帯にも便利な能楽鑑賞事典。見開き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観能の手引きに最良の書。巻末に用語解説も付す。

新書判・三〇二頁
本体一四〇〇円＋税

柳沢新治著
『横からみた能・狂言』

長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送うらばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」、心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。

四六判・二二三頁
本体二〇〇〇円＋税

ご注文・問合せ
㈱能楽書林　九段下駅徒歩すぐ
☎ 03―3264―0846
FAX 03―3264―0847
メール shorin@mercury.plala.or.jp